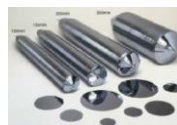


# 国際物流拠点活用推進事業(平成29年度)支援事例のご紹介

- 沖縄国際物流拠点を活用して製品を沖縄県外へ搬出する、①先進的かつ沖縄の特色を生かしたものづくり事業や、②沖縄で付加価値を付ける物流事業を支援することで、物流拠点としての更なる活性化を図る。

事業実施主体	株式会社ナノシステムソリューションズ
プロジェクト名	「高精度ナノソリューションナノポグラフィ検査の国内外販売にむけての装置化」
事業内容	シリコンウェーハの平坦度検査に含まれるnmオーダーの凹凸差を検査ができる装置製品化を行い、国内外のシリコンウェーハメーカーに販売を可能にするとともに、最終的には業界標準化を目指すことを目的としています。
今後の計画	売上実績：令和3年度 1.14億円 売上目標：令和4年度 2億円、令和5年度 3億円、令和6年5億円、令和7年度 7億円 拡販 令和4~7年度 海外米国3案件・アジア4案件以上、国内5案件以上
最終目標と現状	令和3年度までにナノソリューションHR版性能Upを2社に導入し評価完了、さらにスーパーナノソリューションSHR版を県外国内1社に導入済みです。 令和4年度以降は、HR/SHR版の性能Up及び新規単体機の新規顧客への導入展開を図る一方、他の検査機能を融合した複合機の開発実用化を図ります。 最終的には、SEMI規格に準じた業界デファクトスタンダードを目指します。
補助事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発した測定検査技術によって、従来の米インテル社提唱の規格SEMIスタンダードを超える微細測定検査を具体化し、年々進展する半導体微細化・高精度化を支える検査技術を提供することで世界に貢献します。</li> <li>■ 沖縄の地の特性や優位性を活かし効率的な装置ビジネス事業を遂行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の気候がもたらす低コストで安定した温湿度管理可能なクリーンルームで開発装置の詳細評価や装置製造が可能。</li> <li>・技術向上による高付加価値化や開発委託、共同研究による地元大学との連携や、沖縄地元卒の理工系人材の積極的な採用で基盤技術力構築が可能。</li> <li>・近隣の台湾/韓国/中国や九州地方の顧客に対して、国内出張外出の如く、装置納入・アフターメンテナンスを沖縄スタッフの確かな技術でフルサポート可能。</li> </ul> </li> </ul>

## ナノポグラフィとは？ = 微細表面凹凸検査



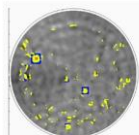
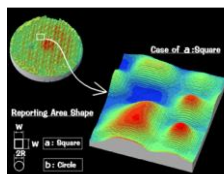
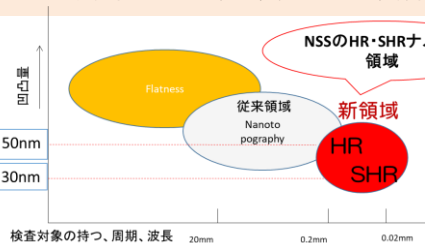
メモリ等を作るベース材料のシリコンウェーハは、IoT技術が牽引し需要拡大と更なる高精度化が急務！  
その結果・・・

**検査精度高度化に強力な市場要求！**

半導体業界の製品規格（SEMI）により規定されている品質管理検査の項目としてナノポグラフィがあり、従来より面内の0.2~20mmの大きさで検査し全体の凹凸測定をしてきています。

**⇒NSSはさらなるナノソリューション化を進めることに成功しました（従来最小0.2⇒0.02mm）**

**世界初！NSS新領域HRナノポにより新たな不良解析が可能に！**  
その結果、歩留まりや品質の向上に期待！



# 国際物流拠点活用推進事業(平成31年度)支援事例のご紹介

- 沖縄国際物流拠点を活用して製品を沖縄県外へ搬出する、①先進的かつ沖縄の特色を生かしたものづくり事業や、②沖縄で付加価値を付ける物流事業を支援することで、物流拠点としての更なる活性化を図る。

事業実施主体	株式会社ポイントピュール
プロジェクト名	最高級基礎化粧品のOEM受託事業と量産化
事業内容	当社は、沖縄県では初となる最高級基礎化粧品の製造を行うため、海外高級容器メーカーにも対応した専用自動充填機を導入し、久米島海洋深層水、沖縄由来の天然美白成分、国産ヒト幹細胞を含む最高級基礎化粧品の大量生産、品質の向上、雇用拡大を目指します。
今後の計画	既存の久米島本社、琉球コスメハウス那覇店の他に京都営業所、東京研究所、沖縄国際通り県庁前店、R y u S p a 北谷店、琉球コスメハウス久米島店をオープンさせました。新店舗を拠点に業務拡大を行います。
最終目標と現状	当初の計画では、平成31年度の売り上げ4億円を令和6年度には10億円とする計画を立てていましたが、令和3年度に達成しました。 新たな目標として令和9年度の売り上げ30億円を目指します。 従業員も積極的に採用し、令和9年には30人以上を増加させます。
補助事業の効果	本事業で導入した充填機の効果で、複雑な構造の容器に充填できるようになり、最高級基礎化粧品の製造が可能になりました。 また、今まで人力で行っていた充填作業を自動化することが可能になり、生産量が飛躍的に向上しました。 さらに、機械で充填するため、充填量の均一化を図り、細菌の混入を低下させることが可能になり品質が向上しました。 また、充填作業が高速化したことにより、残業時間を削減でき、従業員の負担を軽減させることが可能になりました。



チューブタイプ



ジャータイプ



ボトルタイプ



チューブタイプ、ジャータイプ、ボトルタイプへの高速、高品質充填が可能になりました。  
複雑な構造の容器に充填できるようになりました。